

放射線物質検査結果（第157報）

平成30年5月8日（火）

【学校給食用小麦粉】

	食 材 名	原料の産地及び規格	検体数	検査依頼日	結果判明日	放射性物質 (Bq/kg)			
						放射性ヨウ素 (I131)	放射性セシウム (Cs134)	放射性セシウム (Cs137)	放射性セシウム (Cs134+Cs137)
1	学校給食用小麦粉 (地粉うどん・さきたまロール他)	埼玉県産さとのそら100%	1	2018/4/18	2018/4/20	<1.8	<2.9	<2.3	<5.2
2	学校給食用小麦粉 (パン・ソフトめん用)	埼玉県産さとのそら30% アメリカ・カナダ産強力粉70%	1	2018/3/28	2018/3/29	<1.6	<2.7	<2.1	<4.8
3	学校給食用小麦粉 (ホット中華めん用)	埼玉県産さとのそら30% アメリカ・カナダ産準強力粉70%	1	2018/5/1	2018/5/2	<1.6	<2.8	<2.3	<5.1

検査機関 一般財団法人日本穀物検定協会 東京分析センター

分析試験方法 ゲルマニウム半導体検出器による方法

(注) 1 分析については厚生労働省施行通知(平成24年3月15日付食安発0315第4号)に準拠したものです。

2 平成26年度9月需要分から埼玉県産麦が「農林61号」から「さとのそら」に切替りました。合わせて、小麦粉のブレンド割合が一部変更となりました

■ 食品に含まれる放射性セシウムの新基準(平成24年4月1日施行)

対 象	放射性セシウム
飲料水	10Bq(ベクレル)/kg
牛乳	50Bq(ベクレル)/kg
一般食品	100Bq(ベクレル)/kg
乳児用食品	50Bq(ベクレル)/kg

※ 米、牛肉、大豆については一定の範囲で経過措置期間が設定されています。